

緑の相談所だより

[8・9月号 ~ 1990・7・31発行 ~]

◇ 行事案内 ◇

・親子夏休みの自然観察と植物園教育 (全2回)
 日時: 8月8日(水) 午前10時 ~ 午後3時
 8月9日(木) 午前10時 ~ 正午
 講師: 日新小学校教諭 塩田 惇
 ☆持参品・・・昼食: 8日(水) / 鉛筆: B又は2B
 色鉛筆又はクレヨン / 画板 / 画用紙

・身近なキノコの見分け方
 日時: 8月17日(金) 午後1時 ~ 3時
 講師: 旭川キノコ会 会長 山 晋

・ジャコバサボテン・ポインセチヤに花をつくる
 日時: 9月2日(日) 午後1時 ~ 3時
 講師: 旭川市緑の相談所 村田 正一 相談員
 内容: 花芽をつけるための短日処理
 ジャコバサボテン・ポインセチヤ

◎ 9月予定講座
 ・山野草、秋の栽培講座
 日時: 未定
 講師: 北海道山草趣味の会 氏名 未定

* いずれの行事も、一般市民の方の参加をお待ちしております。
 お問い合わせ申し込みについては、旭川市緑の相談所 ☎ 65-5553 へ。

神

楽

岡

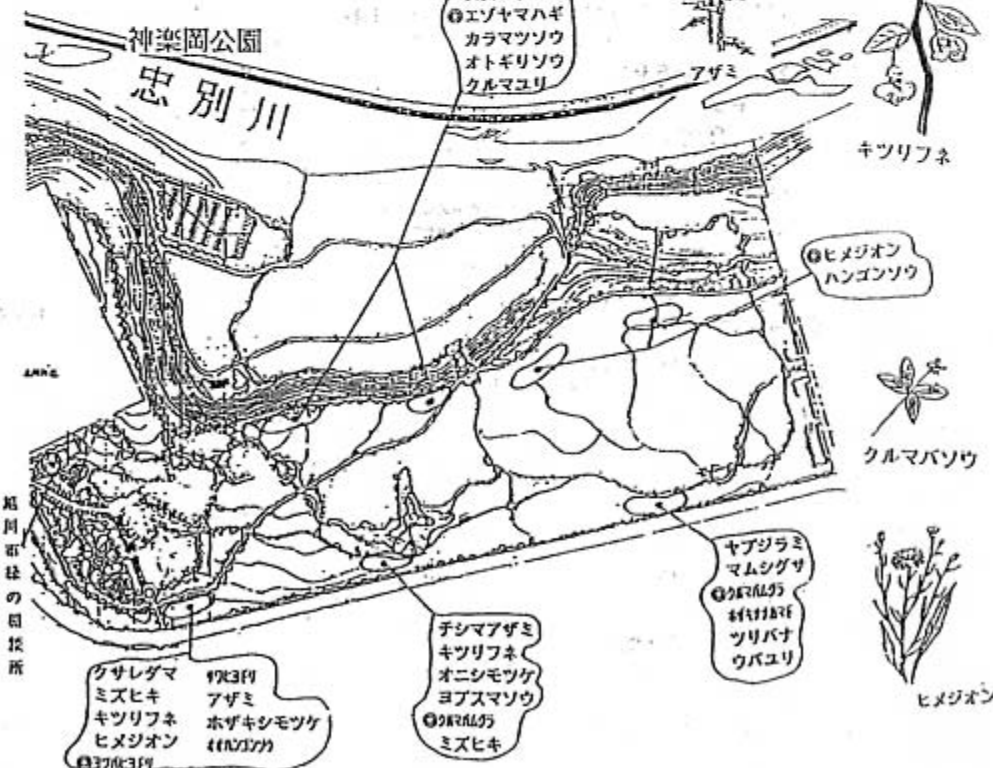
公園

で

楽

夏から

秋へ



◎ 長い間庭木類を楽しむためには次のことに充分注意してください。

■ サギソウ

白鷺が空を舞っているような姿は夏の涼風を呼ぶ感じです。本州の湿地に自生する野生のランですが、園芸店に鉢植えで出ていることがあります。

- ・ 日光が好きですから日のよく当たる風通しのいい所に置いて下さい。室内にはできるだけ短時間にします。
- ・ 茶色になった花はすぐ摘み取ります。花が終わったらリン酸、カリ分の多い肥料を10日おきに3回くらいやって球根を太らせます。
- ・ 病気がつきやすいので殺菌剤を時々かけておくといいでしょう。
- ・ 秋になると大豆粒くらいの球根が倍くらいに増えています。来年また楽しむために茎葉が枯れてきたら鉢を乾かしぎみにして凍らない程度の所に置きます。置き場所に困る方は球根を取り出して湿ったミズゴケでくるみ、それをビニールの袋に入れて冷蔵庫にしまっておきます。来年3月取り出して新しいミズゴケで植えます。



■ ポインセチヤ、シャコバサボテンの短日処理

ポインセチヤ、シャコバサボテンなどは短日性植物といって夜の時間が長くなると花芽をつけません。夜、電灯の光りが当たってもいけません。

8月半ばころから夕方5時ころから翌朝8時ころまでダンボール箱でもかぶせて暗くしてやります。

- ポインセチヤは暖かいところで2ヵ月くらい続けると赤い苞が見えてきます。
- シャコバサボテンは水を控えて乾かし、先端の若い茎節を摘み取って短日処理をします。2週間くらいで花芽がみえてきますから短日処理は止めます。

■ チューリップの球根植え

9月はチューリップの球根植えの時期です。10月でもいいですが遅くなると球根の太りが悪くなります。

チューリップは砂質土壌を好みます。粘土質には砂かピートモスをたっぷり混ぜてやるといいでしょう。

なるべく早めに苦土石灰を1㎡当たり200㍑すき込んでおくと良いでしょう。

植え床には1㎡当たり堆肥 500㍑～1kgくらいと、ゆっくり効く化成肥料を50㍑くらいを土に混ぜながらなるべく深く耕します。

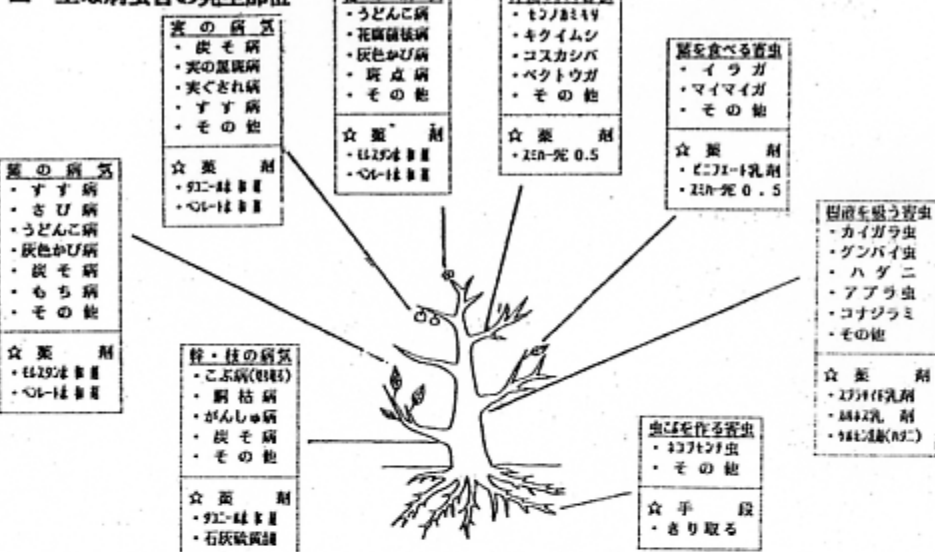
植え床の土を深さ15㍑くらい取り除き、そこに球根を縦横きちんと並べてから土をかけます。浅植えだと球根が分球しやすく太りませんから気をつけます。球根の大きさの3倍

くらいの深さで間隔は球根の直径の3～4倍くらいがいいでしょう。

同じ色をまとめて植えると見栄えします。いろいろな系統があって、系統ごとに花の時期や高さが違いますから球根を求める時は気をつけます。

来春、花が咲き始めるころ化成肥料を与えると球根の太りがよくなります。

■ 主な病虫害の発生部位



■ 肥料成分の働き (三要素：N=チッソ・P=リンサン・K=カリ)

部位	過 肥	欠 肥	
N	葉	生育が良いが軟弱になり病虫害にかかりやすい。	葉が全面的に黄色になる。
	根	花や実がつきにくくなる。	
	働き	葉や茎の生育の促進。	
P	葉		着花数の減少、開花結実のおくれ。葉が小さく暗緑色、紫色になる。
	働き	根の伸長、開花、結実の促進	
K	葉		葉や外観が悪くなる。白い小さな斑点。
	根	窒素・チッソの吸収を抑制する	根の生育が悪く、根腐れをおこしやすい
働き			

* 肥料は植物の生育期間にあてるもの、追肥は確目のものをつつかう。